

日本社会学史学会ニュース No. 144

日本社会学史学会事務局
(2023年3月11日発行)

1. 2023年度・第62回日本社会学史学会大会について

(1) 自由報告の募集

本学会2023年度大会は、6月24日(土)と25日(日)の両日、日本大学文理学部(世田谷区、世話人・仲川秀樹庶務担当理事)において、対面式で開催いたします。

つきまして、自由報告の申し込みを受け付けいたします。報告を希望される会員は、①氏名、②所属、③報告題目、④住所(連絡先)およびアドレスを明記され、4月17日(月)正午まで、事務局宛メール(mail@jashs.jp)にて、お申し込みください。締め切り後はいかなる理由(パソコン通信障害等)がございまして一切受理いたしません。締め切り時間の厳守をお願いします。

新型ウイルス等に関する緊急事態等の場合その都度、本学会HPにて告知いたします。感染防止対策を徹底しての大会開催を予定しております。会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

自由報告の日時は、原則6月24日(土)を予定しております。報告時間は15分、質疑応答10分です。(報告人数により報告日時変更の場合もあります)

(2) 2023年度大会の概要

正式なプログラムは、5月下旬発送ですが、現時点での予定は下記のとおりです。

6月24日(土) 自由報告、理事会、総会

25日(日) シンポジウム開催

(3) 大会シンポジウム

☆共通テーマ:「社会学史を通じて『社会学』を問うⅡ

—1920年代～1960年代 諸理論パラダイムの形成—

☆報告者(仮題)(敬称略)

中村文哉(山口県立大学)「社会的拘束下の人間行為とシュッツの現象学的社会理論」

白石哲郎(佛教大学)「主意主義的行為理論から構造機能主義的システム理論へ—激動期におけるパーソンズの理論展開」

出口剛司(東京大学)「歴史の転換点とフランクフルト学派の挑戦—学際的唯物論から資本主義的近代化のパラドクスまで—」

☆討論者: 浜日出夫(東京通信大学)、梅村麦生(神戸大学)

☆司会: 研究担当理事

2. 会務報告

(1) 2022年度第4回理事会開催（1月28日（土）オンライン Zoom）

- ① 2022年度本学会研究例会について
- ② 2023年度本学会大会シンポジウムについて
- ③ 『社会学史研究第45号』編集状況について
- ④ 『社会学史研究』電子化作業について
- ⑤ 本学会HPリニューアル作業について

(2) 本年度本学会研究例会開催（1月28日（土）オンライン Zoom）

共通テーマ「見田宗介（真木悠介）の社会学」

司会 清家久美（研究担当理事）

① 報告者：片上平二郎会員（立教大学）

題 目：「見田宗介における「構想」と「旅立ち」の社会学」
—「別の何者か」になることをめぐって—

② 報告者：鳥越信吾会員（十文字学園女子大学）

題 目：「時間・疎外・共時性・真木悠介とハルトムート・ローザ」

3. 2023年度本学会関西研究例会の予定

2023年4月に開催予定。決定次第、本学会HPでお知らせいたします。

4. 新入会員（住所省略）

① 山本千寛（東京大学）

5. 会員住所・所属変更（住所省略）

① 池田直樹

6. 退会

門口充徳

☆ 日本社会学史学会事務局

〒156-8550

<http://www.jashs.jp/>

東京都世田谷区桜上水3-25-40

mail@jashs.jp

日本大学文理学部社会学研究室内

TEL 03-5317-8978（庶務担当）

FAX 03-5317-9423

振替口座00180-6-85671